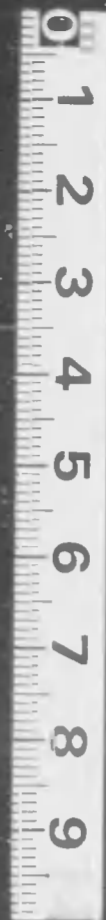


週寫  
報眞

編輯部報情閣内  
第十七號三十九第 日九廿月一十

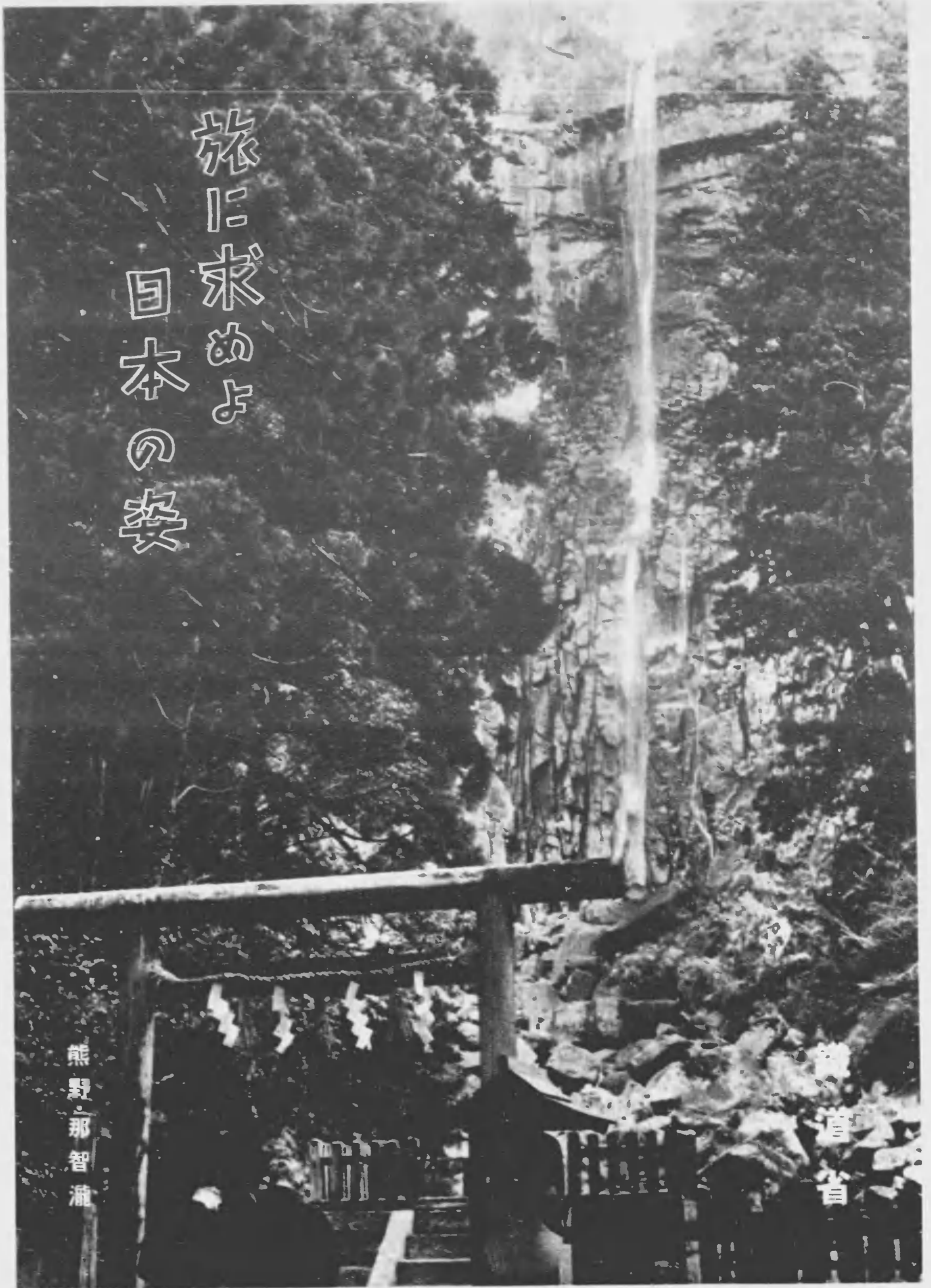


# 豊作を御恩に返す秋田米



旅に求めよ

日本の姿



熊野那智瀧

お米の値段が一斉に高くなつた上に、全国的なお米の偏在のため銚後をまもる同胞に少しでも不安があつてはならないと、幸ひにも今年豫想以上の大豊作にめぐまれた秋田縣は昭和九年厳しい冷害凶作に見舞はれた折全日本からよせられた温い同情を想起して、三かつての御恩返へしは今だぞ、どうだ今年の豊作は、これを全部食米の不足してゐる地方に送らうと天晴れ日本精神を發揮し、他府縣に率先して一刻も早く東京へ、西日本へと貨車の腹もはち切れんばかりに米の移出を開始した。

雄物川の流域仙北平野を中心として水田十萬町歩を有するオベコの間、秋田縣が、今年度には農林省、神奈川県、東京府等から輸送を頼まれたお米の総額は十三萬石、縣では縣廳



員を各町に別けて各町村に折衝のため派遣し、各町村では直ちに協議會が開かれて出来るだけ早く生産米を出荷することに相談は決した。普通年なら秋田縣で精白をするのは多に入つてからゆつくりの話であり、十一月中にはたゞ脱穀して貯蔵しておくだけが慣はしであるが、今年は特にそれをはやくして戦時下の労働力不足といふ困難と石油の配給がないといふ不便にもうちかつて、少くとも全縣下の農家一戸あたり四俵づゝ、すゝんでお米を送りだし食米不足に悩んでゐる地方のため一肌ぬがうと、といふことになつた。もう雪の降りはじめた野良のにおをすつかりほぐして、女子供も總動員、はりきつた調整作業が行はれ、割當てられた總額十三萬石をはるかに突破して廿萬石の味のよい秋田新米が旬日にして鐵道沿線の指定倉庫に天井にとくほど山とつまれたのである。

こゝに紹介するのはこの『お米のお禮輸送』といふ時節柄美はしい話題であるが、なほ秋田縣ではこれとは別に今夏早害に見舞はれた西日本のため『報恩感謝米輸送運動』を提唱してゐる。これは、秋田縣が國土の恩恵に感謝し、かつての大凶作震災の時の同胞の同情に酬ひようと縣知事、縣會議長、縣農會長等を中心となり全縣下十萬戸から一戸あたり二升の玄米を輸出して、小學生、男女青年團等の奉仕により蒐集し、報恩感謝米のレツナルをつけて五千俵を早害地西日本の各地に送り出そうといふ運動で、報恩感謝米は早害地長官の裁量によつて適當に配分され、食糧充實運動の一助ともなり、あはせて一億一心舉國一致の實を擧げようとしてゐるのである。

東京向け出廻米の第一荷を山とつんで「お禮輸送」の貨車は動きだす  
秋田縣仙北郡大曲町

撮影 梅本忠男



◁

村人は一夜集まり出荷に関する協議会を開き、積極的協力を申し合わせる。これもみんな剛策なのだ。労働力の不足や夜乗の煙火に使ふ石油のないことや、いろいろ困難と不便はあるが、引きうけた石炭だけは必ず立派に御用立しよ。



豊作を御恩に返へす秋田米

◁

一家総出で二日、三日、夜乗してがんばつた甲斐があつた。玄米になつた米は五俵、サシりくと兼氣よくリヤカーにつんで運つてついた畦みちの露柱を踏み乍ら群の共同倉庫に搬入する。



◁

いつもならにおをがして調整(脱穀、精白等の作業)するのは冬になつてからの話だが、関東が食米不足ときいてはそんなことは言つておられない。精米して袋をつくらう。稲こきには村の婦女會員も奉仕する

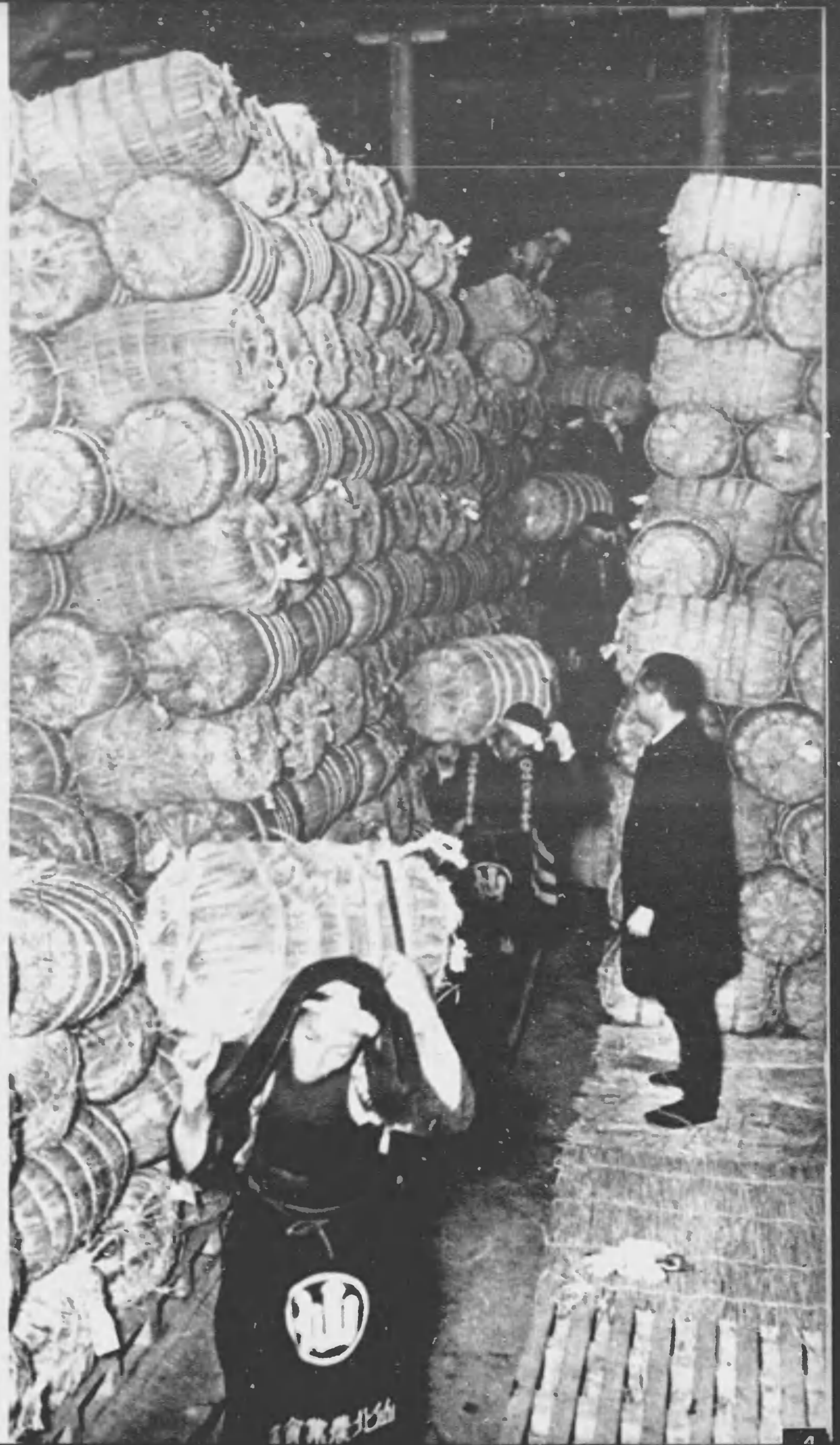
◁  
冬が今年は少しはやい、昨日初雪をみた。野良のわきに高々とつまた秋田特有の稲の山、におが豊作をめて、娘さんたちの荷さばきもあざやか、實りは重いが心は軽い。





豊作を御恩に返へす秋田米

農林省が秋田県に割  
 当てた出米米量は十  
 三萬石であつたが、農  
 家の協力はそれを遙か  
 に突破して廿萬石の出  
 米が東京はじめ神奈  
 川千葉、茨城、群馬の  
 各地方に一齊に送り出  
 された。貨車の車頭は  
 新宿行。秋後農村と都  
 会とは「米のお禮奉送」  
 で力強く結ばれたのだ



各村から大車輪で運  
 び込まれた新米の俵は  
 郡の共同倉庫に山とつ  
 まれた。新米のなつか  
 しい仄かな匂ひが米倉  
 にいつぱい漂ふ。味が  
 よいと評判があるのが  
 秋田米だ。この名譽を  
 汚すことがないやう、  
 農家の技手は厳格な出  
 張検米をする。あとは  
 出荷をまつばかり。

高の國の姉妹



「これは何かしら」珍らしい博多人形を抱いて質問を浴びせる生徒たち。原田先生は「日本キモノ、マダ、マダ、マダ」と日本の風俗を詳しく説明する。



「手を解はないうらに」と注意したのは昨日のやうであつたが、もう一取りを解やかにこなせる上達ぶりである。伸びる新支那は乙女といもに



阪東に開かれた女子手藝学校生徒は百五十人位、例證さうな彼女たちは事變前からこの街にゐた日本の原田女史を先生に習つて、手藝作法、日語などを修めとして學んでゐる。慶應の次代は彼女たちを母として生れねばならない。



十一月といへ、まだあたたかい廣東秋陽さす音楽室で先生を圍み、希望に輝らん丸胸の中をソプラノに發散させる小姐にはなんの不安もない。



「まあ綺麗です」と思はず感嘆するほど、彼女たちの手先は器用だ。彼女たちが精魂を注いだ刺繍が日本へくる日も近いことだらう。

なにを嘆くか三々五々、明日の設計への夢、日本の姿を學ぶ喜び、ねむの木を明日の母は新しい時代を風びに運ぶ

撮影 サウスチャイナ  
フォトサーヴィス



7 故郷の群に着いた報告隊員は夜にも拘らず満洲から歸つた先軍に一刻も早く現地の様子を知りたいと母校の小学生を出迎へられた。このいけなな熱誠に一行はホームから感涙の挨拶をした。

2 次の町から村へ現地報告隊員の活動は夜となく晝となく続けられた。秩父連山の山裾を弓張提燈持参でゆく埼玉、山梨班員。

3 埼玉縣出身町田廣治君を圍んで母校中川校の兒童たちは「馬にも乗るの、トラクターも運転出来るのね、いゝなあ」見せられた現地生活の寫真に感嘆の聲を放つてゐる。

4 廣ちゃんも満洲から歸つて来たんだつてさ。呼び合ふ近所の人々を加へ町田家は早くも正月が来た賑ひ。「一年間見ない間にお父さんより大きくなつてしまつたなあ、ハハ」と一同の哄笑のうち親子は楽しさうだ。

5 大阪府出身の篠忠彦君は折から大阪軍人會館で發會式を上げた拓土父兄會の席上で現地生活がいかに楽しく、青年の活躍舞臺であることかを熱をもつて報告した。  
(大阪・和歌山班)

6 吾が家に真いだなつかしい夕餉のお膳である。黧黒く大味やけた兄を弟や、妹は他所へ、しく横目でながめ父の視線とち合つてはまごまご目もやり、内に困つてゐる。どうだ忠彦、内地のお料理もうまいだらう。家族のやさしいもてなしである。  
(大阪・和歌山班)



## 君を等迎へに歸つた

滿蒙開拓青少年義勇隊現地報告隊

出身縣と胸懸の二人がコンビとなつて現地の模様を全國に報告する滿蒙義勇隊現地報告隊は、いづれも遠い故郷の人々に迎へられ「滿洲はどうだ、ひどく寒いさうだが、ほん」とに農作物が出来るころか、等と浴びせかける質問に應へて「大根、馬鈴薯、白菜、人参等の大量な収穫があること、馬鈴薯などは一ヶ月中で二萬石ほどとれたこと、地味は肥沃の上に氣候の關係で内地に比較して作物の成長が非常に早いこと」などを以て、一ヶ年間経験した廣漠たる沃野の有様などを何の誇張もなく率直に語つた。  
そして身近な友人を通して滿蒙開拓の實情を知り大膽の認識を新たにした都市や農村の青少年等は互に渡滿の決意を誓ひ合つてゐた

撮影 内閣情報部



〇 勃利大訓練所の全景。一望千里のこの廣さ。



〇 はてしない草原に牧羊犬とともに細羊を追ふ作業は訓練生の楽しみの一つ。やがて刈り取る毛は柔らかく温く、先づ僕等の身體を包んでくれる。



君等を迎へに 歸つたぞ  
お土産の アルバムから  
その昔馬賊も潜んだといふ高粱。丈餘に生ひ茂つたその高粱の實は食糧に、殻は冬の燃料として缺くことの出来ないうもの。暖かく越冬しようと訓練生の高粱畑ははかどつて

〇 十年間は肥料が要らないといふ沃土。収穫した白菜も見事なもので今年には自作だ。『ホインロウモンキヤ』とかけ聲も元気で漬物にする白菜を干す訓練生。



〇 僕等もこゝでは機械化部隊。曠野千里の沃野にトラクターを駆使する訓練生の意気は壯たるものである。ハンドル握る訓練の腕に東土滿洲の誕生も近いことであらう。



三江省勃利大訓練所

撮影 拓務省

〇 小さい歩哨ではあるが、嚴たるその任務は新の大小で馬鹿にはされないぞ。中隊の歸還に練け銃する力のある組は大陸を吞む氣概に満ちてゐる

墜撃機獨  
るら破夢の歐北

信通外海



歐洲の動亂に乘じたソ聯のフィンランド壓迫に關聯して、スウェーデンの態度は多大の注目を惹いてゐるが、スウェーデンは十月開演された北歐四ヶ國會談の音頭をとり、今次歐洲戰爭には厳正中立方針を堅持する旨を聲明し、同時に國をあげて國防の充實に邁進してゐる。

宮眞はいづれも最近行はれたスウェーデン陸軍新設部隊の大演習の中から



右上：歩兵の敵前上陸演習  
右下：通信兵の活躍  
左上：戦車の陣揚作業  
左下：重機銃架

宮眞協會

十月下旬、大華スコットランド沖に英艦隊を空襲した英空軍の機は撃墜された。



この撃墜された英艦隊水上偵察機の乗組員二人は幸じて救命艇で海上に脱出した。



然し救命艇は射貫かれてゐたため浸水、英空軍偵察機は英艦隊に発見收容された。







十三 其の 箱急救庭家



便秘も不眠症の原因になります。毎朝コップ一杯の水を飲み便通をよくさせよう。

毛布で足を包んだり、湯たんぽなどを足下へ入れて寝ますとよく眠れることがあります。

撮影 望月文喜



喉等の病氣やいろいろな痛みのひどい時などです。

不眠の型には寝就きの悪いもの、眠りの浅いもの、早く目が覚め過ぎるものがあります。不眠症の治療法といへば直ぐに睡眠剤を考へますが、不眠の型によつて用ひる薬が違います。また長く用ひてゐると習慣性となりやうになり、色々の中毒症状をおこして来ますから素人が用ひることは危険で、睡眠剤は醫師から貰ふべきものです。薬は出来るだけ飲まないやうにして寝さねばなりません。毎朝水を飲んで便通をよくし便秘のないやうに平常から氣をつけ、日常の仕事は過勞に陥らないやうにさせよう。食事の時間は規則正しく、夕食は食べ過ぎないやうにし、消化のよいものを攝ります。お茶や珈琲を飲みすぎると

を寝心地よいものにかへることも必要です。また毛布で足を包んだり湯たんぽを入れたりして足を温めるとよく寝られることがあります。床に就いたら先づ體を窮屈な位置にをき、やがてその位置に耐へられなくなつた時に最も楽な姿勢にかへるとよいといふ人があります。よく眠らうと思ふより寧ろ眠るまいと考へる方がよいともいはれてお

すが、神経衰弱の人は精神が弱較されやすく容易に興奮しますので餘り物事を氣にかけないやうにして少し位眠られない晩があつてもそのためにおこる害を過大に思つて恐怖をおこしてはいけません。一週間も一睡しないといふ人がありますが實際は自分では氣のつかないうちに寝てゐるのです。

厚生省 警防局



不眠症

奥さんはすやくと安眠してあますがどうしても寝られませんが、突然とスタンドをつけて新聞を讀みながらしてみますが、どうにもいけません。

足の方へ血液を集中するとよく眠れます。クワシ等で足の裏を摩擦すると効果があります。

冬は寒々とした夜長を眠られぬまゝに轉々反側して心のみ焦つても眠は益々冴えるばかり、あれこれといろ／＼のことが次から次へと頭に浮んで来てやがてボーン、ボーンと午前の一時を聞き二時を聞き漸くとうとうとまどろむ頃にはすでに夜も明け放れて澄い目を擦りながら起き出さなければなりません。そして終日いら／＼した不快な日を過します。睡眠不足は本當にイヤなものです。一晚の睡眠不足がこのやうに體を非常に疲勞させることも判るやうに睡眠はわれ／＼にとつてどうしても必要です。體は眠つてゐる間に晝間の疲勞を恢復するのです。そして人間は人生の約三分の一を眠つて暮します。

ひどい睡眠不足が長く続くと氣分が鬱陶しくなつて記憶力は悪く、考へが纏らなくなり、筋肉や目が非常に弱つて来ます。不眠はどうしておこなうかといひますと、普通の人では神経が興奮した時におこるのですが、他に病氣があつてそのために不眠症となることが多いのです。

神経衰弱、精神病、心臓病、動脈硬化症、便秘、胃腸病、甲狀腺の病氣やいろいろな痛みのひどい時などです。

眠れません。寝しなにアルコール一杯きこし召して寝るとよい、といふ人がありますが、多くの人は反つて興奮しますからよくありません。寝る前に散歩や軽い體操をするかマッサージ、按摩を受けます。また入浴は非常に効果があります。入浴しない時は足の裏をクワシや乾布又は濕布で摩擦すると相當な効果があります。寢室や寝具

どうにも眠れない時でもたゞ横になつて眼をつむつてゐるだけでも疲勞は相當恢復しますから眠れないといつて起き出して本を讀んだりしないやうに靜かに寝てゐなければなりません。

他の病氣があつてそのために不眠がおこる時はその原因を取り除かなければなりませんから早速醫藥を受けませう。神経衰弱による不眠は非常に多いので





寫眞週報 昭和十一年十一月二十一日 大藏省發行

# 支那事變貯蓄債券

五十圓 一百圓 二百圓 五百圓 一千圓  
一等割増金

賣出 十一月十一日  
五十七日  
マヨリ  
元

大藏省・日本勸業銀行

(刊行週報・A4紙規定額以上の請求)

内閣印刷局印刷發行